

## 定期考査の受験について

### 1. 定期考査とは…

- 定期考査（期末考査，学年末考査，中間考査）は，あなたの日頃の学習の成果が，どのくらい定着しているかを把握するために実施します。
- 期末考査及び学年末考査は学期末（6 月，11 月，2 月）に，3 日間で全教科の試験を実施します。
- 中間考査は2 学期にのみ2 日間でを行い，国語，社会，数学，理科，英語の5 教科で実施します。

### 2. 定期考査1 週間前になると…

- 原則として，職員室への入室は禁止になります。（特別な用がある場合を除きます）
- 部活動についてもこの期間は停止します。  
（大会直前の場合、顧問の先生の判断により，試合に参加する生徒のみ活動する場合があります）
- 計画的に家庭学習するように心がけましょう。また，極端な睡眠不足や偏食などに注意しながら体調の管理に努めましょう。

### 3. 考査当日は…

- 出席番号順に着席します。
- 机の上の落書き（ないはずですが，もしあれば…）は必ずきれいに消しておきます。試験内容に関わるような学級掲示物があれば，はずして担任の先生に渡してください。
- 休み時間は10 分間，予鈴が5 分前に鳴ります。予鈴で筆記具（基本的には鉛筆，シャープペン，消しゴム，指定があった場合には定規やコンパス色鉛筆など）以外の私物（筆入れ，筆箱，下敷きを含む）はカバンに入れてロッカーに入れるか，ホームベースに整理して置き，静かに着席して，試験監督先生を待ちましょう。
- 問題を配布する時から試験は始まっています。私語は厳禁です。
- 問題が配られたら，黙って自分の分をとって後ろに送ります。各用紙を裏にして机の上に置くこと。
- 一番後ろの生徒は，用紙に過不足があった場合に，静かに手を挙げ先生の指示を待ちましょう。（印刷のミスなどに気付いた場合も同様です。）
- チャイムと同時の『始め』の指示まで筆記具は持たないこと。先生の指示で用紙の表にして，問題および，解答用紙の確認をし，異常があった場合はすみやかに挙手をして指示を待ちましょう。
- 始めにクラス，出席番号，氏名の記入をすること。
- 問題に対しては，それまでの学習を振り返りながら，最後まで全力で解答を書くこと。
- 試験中の物品の貸し借り，私語，机に字や絵を描くなどの行為は禁止です。
- 用紙を立てたり，机の端に置いたり，周囲の人から見えてしまうような行為も禁止します。

- 筆記用具や用紙などを不注意により落とした場合は、勝手に拾わず、静かに手を挙げ、先生の指示を待ちましょう。
- 試験中のトイレも基本的に禁止です。トイレは休み時間の内に済ませておきましょう。  
※どうしても我慢できない場合は、手を挙げて指示を待ってください。その時点で解答用紙を回収します。原則として、戻ってから再び試験はできませんが、残りの時間によっては先生の判断で受験することになるかもしれません。その場合でも点数は参考点扱いです。
- 試験前から具合の悪いときは、試験前に担任の先生に申し出てください。場合によっては、別室で受験することもあります。
- すべての解答が終わっても、時間内は解答の見直しを行い、よそ見をする、足を机の横に出す、手を机の中に入れるなどの不審に思われる行動をしてはいけません。
- チャイムと同時の『終り』の合図で筆記具を置くこと。一番後ろの生徒は、上から順に出席番号順になるように解答を集めて、先生に提出すること。2枚以上ある場合もあるので注意しましょう。問題も同様に回収します。
- 試験日に欠席した際は、病気が回復し登校できた日に試験を行います。  
インフルエンザ（出席停止）や忌引き等の場合も全て参考点扱いになります。それまでの学習状況と欠席事情を考慮して、試験結果を評価の参考とします。

### 3. 試験後は…

- 答案返却時は、鉛筆は筆箱などにしまっておくこと。
- 答案返却時に備えて、色鉛筆または赤ボールペン等を用意しましょう。模範解答を必ず記入し、同じような間違いを繰り返さないように心がけることが大切です。
- 返却後に、訂正した答案用紙を再度集めることもあります。

### 4. その他

- 試験中、不正行為が発覚した場合は、監督の先生の判断で試験を中止します。点数は0点とします。不正行為を行った教科より前に受けていた試験の採点も参考点扱いとし、正規の評価対象からは除外されます。
- 答案返却時に不正行為があった場合も、その教科の点数は0点とします。

[以下は口頭で伝達]

### 注意点

- ① 試験中にトイレに行く場合は、答案用紙を提出してから教室を出ます。一度教室を出た場合は、戻ってきてから続きのテストを受けることができません。
  - 採点に関しては、そこまでの解答内容により、評価を行います。
- ② 試験開始後、ほとんど解答していない状態でトイレに行きたくなった場合、一度答案を提出してから教室を出ます。戻ってきた際には、回収した用紙を再度受け取り、テストを続けて行います。
  - 教室に戻らずに保健室等に行った場合も同様になります。
  - 採点に関しては、正規の評価ではなく参考点の扱いとなります。

「学習の記録」を試験後返却しますが、参考点の場合には点数に（ ）を付けて表示します。
- ◎ 試験中、不正行為が発覚した場合は、監督の先生の判断で試験を中止します。

この場合、点数は、0点とします。また、不正行為を行った教科より前に受けていた試験の採点結果は参考点とし、正規の評価対象からは除外されます。

  - 答案返却時に不正行為があった場合も、その教科の点数は、0点とします。